

営業概況

At a Glance

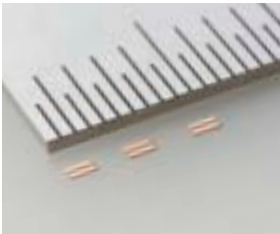
コンデンサ

主要製品

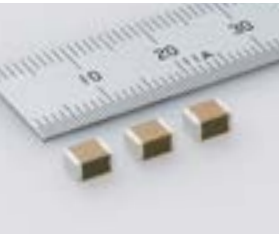
積層セラミックコンデンサ



超小型積層セラミックコンデンサ
0201サイズ(0.25mm×0.125mm)



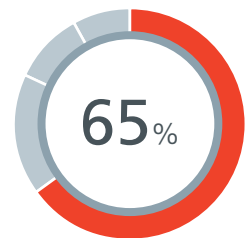
超低背積層セラミックコンデンサ
(0.6mm×1.0mm)
薄さ0.064mm



大容量積層セラミックコンデンサ
4532サイズ(4.5mm×3.2mm)
1,000μF

売上構成比

(2022年度)

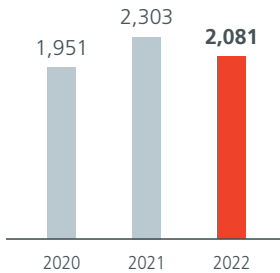


小型、薄型、大容量、高信頼性の積層セラミックコンデンサ(MLCC)の開発に注力しています。誘電体の材料技術、薄層・大容量化技術および超小型品生産技術などを高度化することにより、最先端の積層セラミックコンデンサを開発し続けています。

2022年度は、自動車向けの売上が前年度から増加しましたが、民生機器、情報機器、通信機器、情報インフラ・産業機器向けの売上が減少したことにより、売上高は前年度比9.7%減の2,081億15百万円となりました。

売上高の推移

(単位：億円)



市場ニーズ

- 自動車、情報インフラ・産業機器向けの高信頼性品・大型形状品の需要拡大が加速

太陽誘電グループの強み

高信頼性

ダウンサイジング

大容量品の
トップランナー

生産拠点の分散

成長戦略

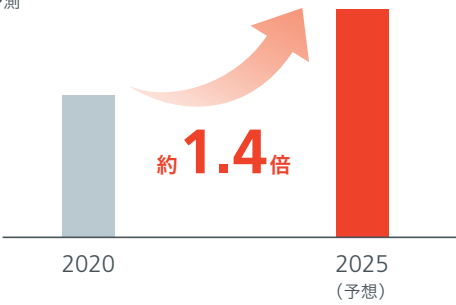
業界トップクラスの技術力を活かし、
高付加価値ゾーンに注力

中期需要予測の変化に対応した能力増強

- 能力増強計画を一部変更
- 高信頼性品・大型形状品の能力増強を加速し、供給力拡大
- 大型形状品の比率拡大により、平均単価上昇

MLCC需要予測(数量ベース)

※当社予測



高信頼性MLCCの商品力強化

- 要素技術の応用や外部電極技術の活用で、自動車、情報インフラ・産業機器のニーズにマッチした商品を展開

インダクタ

主要製品

巻線インダクタ



巻線メタル系/パワーインダクタ
「MCOIL™(エムコイル)」



巻線フェライト系/パワーインダクタ

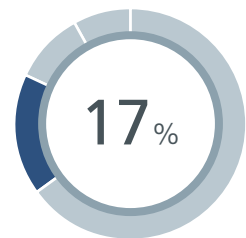
積層インダクタ



積層メタル系/パワーインダクタ
「MCOIL™」

売上構成比

(2022年度)



小型、薄型、大電流対応品に加え、自動車や情報インフラをターゲットとした大型、高信頼性のインダクタの開発に取り組んでいます。金属系磁性材料を始めとした材料開発、巻線・積層プロセス技術を高度化させることで、競争力ある商品を開発しています。

2022年度は、情報インフラ・産業機器向けの売上が前年度比で減少しましたが、民生機器、情報機器、通信機器、自動車向けの売上が増加したことにより、売上高は前年度から8.1%増加し、528億66百万円となりました。

※「MCOIL」は日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

市場ニーズ

- 電子機器の高性能化や自動車の電動化・電装化に伴い、大電流に対応したインダクタの需要が増加

太陽誘電グループの強み

高度な要素技術を組み合わせた
パワーインダクタの豊富なラインアップ

成長戦略

パワーインダクタで競争優位性発揮
ミックス改善で収益性向上

市場と顧客を多様化

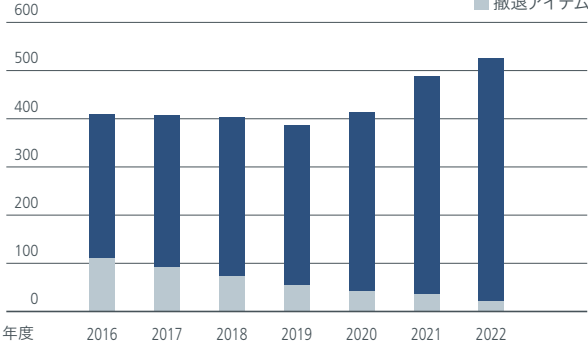
- スマートフォンに加え、IoT、自動車、情報インフラ・産業機器への展開
- メタル材料を使用したインダクタの拡販

材料	構造	
	積層	巻線
メタル (MCOIL™)	スマートフォン スマートウォッチ PC・タブレット端末 当社独自の メタル×積層で小型化 ADASにも展開へ	スマートフォン PC・タブレット端末 HDD・SSD 自動車向け ラインアップ 拡充
フェライト	(メタルヘシフト) ↑	自動車 情報インフラ 産業機器 高信頼性市場で 売上拡大

アイテムミックスを改善し、高収益体質ヘシフト

売上高

(億円)



営業概況 At a Glance

複 合デバイス

主要製品

通信デバイス



モバイル通信用デバイス (FBAR/SAW)



積層セラミックフィルタ

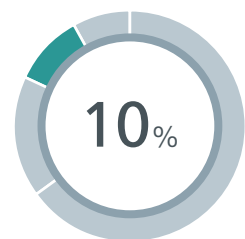
回路モジュール



電動アシスト自転車向け
回生電動アシストシステム

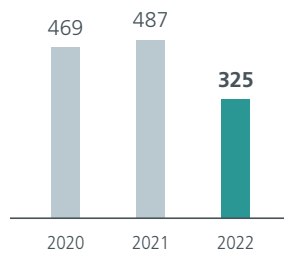
売上構成比

(2022年度)



売上高の推移

(単位：億円)



広帯域に対応する通信デバイスの開発や、より高い周波数に適した次世代商品の開発を推進しています。

2022年度は、モバイル通信用デバイス(FBAR/SAW)、回路モジュールの売上が前年度比で減少したことにより、売上高は33.2%減少し、325億81百万円となりました。

※「TLSAW」は日本およびその他の国における太陽誘電株式会社の登録商標または商標です。

通信デバイス

市場ニーズ

- メイン市場であるスマートフォンに加え、テレマティクス、M2M、IoTでの採用が拡大

コネクテッド・カー
e-Call (自動緊急通報システム)
など

スマートメータ

セキュリティ機器

POSシステム

太陽誘電グループの強み

素子の材料技術、堅牢なパッケージ構造で
優れた高信頼性特性を発揮

- TLSAW™ (素子技術) …… 低ロス、広帯域、急峻
- HPDP (パッケージ技術) … 低背、高信頼性

成長戦略

独自技術を活かし、
高付加価値ビジネスを追求

- 自動車、情報インフラ・産業機器向けの拡大
- スマートフォンメーカーへのディスクリート販売に加え、モジュール用途への展開を目指す

回路モジュール

市場ニーズ

- スマートモビリティ社会

太陽誘電グループの強み

回生電動アシストシステム

- 電動アシスト自転車に搭載されるシステムを自社開発

成長戦略

選択と集中で収益性向上

- 回生電動アシストシステムに注力、スマートモビリティ社会の実現に貢献
- その他のモジュールは事業譲渡・縮小・撤退。リソースを再配分

そ の 他

主要製品

アルミニウム電解コンデンサ



導電性高分子ハイブリッド
アルミニウム電解コンデンサ

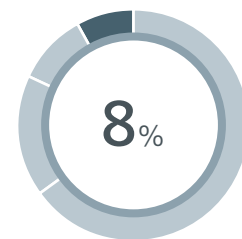
蓄電デバイス



電気二重層キャパシタ

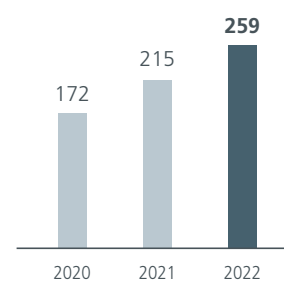
売上構成比

(2022年度)



売上高の推移

(単位：億円)



注力市場向けの導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサの商品開発や、社会課題解決に貢献するソリューションの創出にも注力しています。

2022年度は、自動車向けを中心にアルミニウム電解コンデンサの売上が前年度比で増加したことにより、売上高は20.5%増の259億41百万円となりました。

市場ニーズ

—導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサ—

- xEV化、パワートレイン電動化、ADAS高度化などにより自動車向け需要が急速に拡大

太陽誘電グループの強み

—導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサ—

豊富なラインアップでニーズに対応

- 高信頼性、大電流対応、低ノイズ
- 大型形状品、大容量品を豊富にラインアップ

case size	太陽誘電 (ELNA)	A 社	B 社	C 社
Φ5 × 5.8	●	●		●
Φ6.3 × 5.8	●	●	●	●
Φ6.3 × 7.7	●	●	●	●
Φ8 × 8.7	●		●	●
Φ8 × 10	●	●	●	●
Φ10 × 8.7	●			
Φ10 × 10	●	●	●	●
Φ10 × 12.5	●	●	●	●
Φ10 × 16.5	●	●		●
Φ12.5 × 13.5	●			
Φ12.5 × 16.5	●			

成長戦略

—導電性高分子ハイブリッドアルミニウム電解コンデンサ—

自動車を中心とした高付加価値市場で
販売拡大

能力増強で自動車向け需要拡大に対応

- 開発から生産まで、効率的な国内一貫体制を構築し、生産能力を増強

導電性高分子ハイブリッド
アルミニウム電解コンデンサ需要予測 (数量ベース)

※当社予測

